

# 說苑



## 権原神宮と建國奉仕隊（二）

藤田宗光

### 一、権原神宮境域並畠傍山東々北陵域整備事業

神武天皇大和権原の地に皇都を定め給ひ、天業を恢弘せられ、御卽位の大典を挙げさせられてより國礎愈々固く來る昭和十五年を以て、光輝ある紀元二千六百年を迎ゆることになつた。抑々奈良縣は古來大和と稱せられ、日向、出雲と共に我が國體の基礎をなし、幾多古代の史蹟を有し、所謂建國の聖地として國民齊しく渴仰する處である。

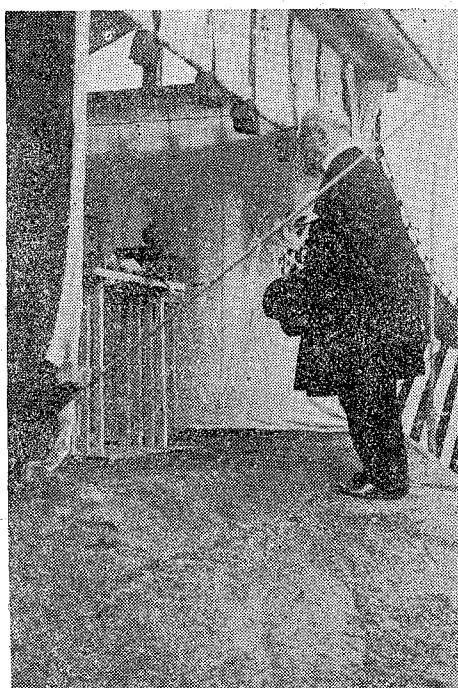
皇國日本が世界的に進出し、凡ゆる方面に於て長足の進

歩を見るに至りしは、僅々七十年の歴史にして、其の發展の著しきは各國の驚嘆する處であるが、昭和の御代に至りて確固不動の世界的地位も確保され、東亞の盟主として君臨するに至つた。之が最大の原因は上に萬世一系の天皇を戴き世界無比の國體たるを誇る國民の類ひ稀なる意志によ

るものにして、遠く肇國創業の大精神をよく恪守し、神武天皇の詔勅たる八絃一字の大理想に邁進したる賜に外ならず、今や國運天日と共に益々拓け、皇祖の聖勅に副はんと

し、輝しき日を迎ゆるに當り、紀元二千六百年の前奏曲たる奉祝記念事業として、神武天皇を奉祀する橿原神宮境域並畝傍山東北陵々域整備の事業實施せらるゝに至りたる事は、只に聖地奈良縣民の喜びのみならず、全國民の待望する處である、と同時に萬邦亦其の悠久なる國體の精華を賞讃することである。

本事業に要する費用四百萬圓の巨額に及び新綠薰る五月八日神靈



（イ）大軌、大鐵の綜合驛より又第一廣場（飛鳥川）より起工祭（第一圖）の御儀舉行せられ、國民的祝典の序曲として爾來事業の進捗日に舉り、炎天下をものともせず二年後来るべき榮光の日を期して誠意努力なし著々として目

（ロ）府縣道の整備として、奈良、和歌山線に至る區間、

圖 県に於ける紀元二千六百年奉祝會より委嘱の分に對する工事執行方法としては

一、都市計畫街路事業として

飛鳥川南方廣場より分岐する延長五七〇米の新設（幅員一米工費二萬圓）

## 二、土地區劃整理事業として

聖域の環境整備を主眼とすると共に、神域に接する地域なるを以て、將來に於ける統制ある市街地として發展せしむべく留意し、聖域の擴張、電車路線の移設、參拜道路の新設に伴ひ、之が外苑として約百五萬六千

平方米の用地を以て縣に於て都市計畫法第十三條に依る土地區劃整理を施行し、家屋の移轉を容易ならしむると同時に道路網の確立をなし、環境の美觀を圖る。

（工費一四〇萬圓）

## 三、大軌線路用地買收費として

現大軌線路の移設に伴ふ、新設線路敷地として用地買收を縣に委嘱さる（五萬圓）

## △内務省神社局關係として

（イ）目下八十萬圓の國費を授じて、神宮の御造營に着手せられつゝある本殿以下社殿の整備に附屬すべき、神

宮附屬諸建物の整備をなし、一切の附帶設備をなす（神饌所、廻廊、透屏、荒垣、勅使館、齋館、社務所、神橋、鳥居、參拜者休憩所、給水、防火、照明等にして工費六〇萬圓）

## （ロ）神宮參道の整備

現大軌檜原神宮前驛附近に新設する廣場より西進する幅員四十四米の植樹帶道路（工費五萬圓）

（ハ）境域並に陵域内の整備及施設として、擴張區域一帶の地均し、苑地の造成、苑路、廣場、河川の付替をなす（工費七〇萬圓）

## △大軌、大鐵關係として

鐵道及軌道の整備、大軌の畝傍線及吉野線路の移設（三百米東方）並に大軌、大鐵の檜原神宮驛の廢止に伴ふ綜合驛の新設、及び大軌御陵前驛の新設（工費五〇萬圓）

## △宮内省關係として

縣が施行する參道廣場より御陵參拜の取付道路の新設

並造苑、建物附帶設備

△奈良縣奉祝會記念事業として、青少年の德育並體育施設の完備を期し、併せて聖地の森嚴を彌増すべく、神宮外苑の施設をなす。

大運動場の建設

日本青年道場、講堂、樺原文庫

歴史館、武徳殿

等を計畫し、既に運動場の建設準備に着手し、用地買収として十七萬五千圓、工事費十五萬圓の計上を決議し外苑敷地三萬六千坪を買収し、其の中に前記建物、運動場の建設を見るに至つた。

△組合組織による土地區割整理事業として

都市計畫法第十二條に依る土地區割整理事業として縣の執行する土地區割整理と關係し、今井町第一、畠傍町第一、第二土地區割整理組合が設立せられ、兩者相俟つて聖域の環境整備に邁進することとなつたが、計畫は產業病院を中心と參道を根幹として將來の市街化

を豫想したるを以て聖域の美に寄與する點多し。

以上が八絃一字の大精神を顯揚し奉るべき、皇紀二千六百年の光輝ある國家的事業の大要にして着工以來の事業進捗は頗る好成績を擧げてゐる、而して之が用地として六六萬圓を投じて一四四、〇〇〇坪の敷地買収も完了し現在參拜道路、府縣道の新設に主力を傾注しつゝある。目下瓦斯倫機關車五臺を運轉し、着々進捗しつゝある。事業の趣旨が建國の大精神發揚と國民精神の振作であり皇國をして世界無比の國體たることを宣揚すべき光輝ある紀元二千六百年慶祝の事業なるを以て、之に從事する者舉つて勞力を惜しまず、意氣正に天を衝くの概あり、意外の成績を擧げつゝあるは秘に喜びに堪へない處である。

神社局關係の事業も大いに進捗し目下本殿、社殿の建築施工中にして、一方造苑關係も進み、豫期以上の成績を擧げてゐる様である。

二、勤勞奉仕運動

労働奉仕の觀念と其の實踐とは日支事變の非常時期に際

會し著しく全國的に強調されるに至つた。

從來労働は都市工場に於ける賃銀労働者か又は農山漁村に於ける生活労働者が其の主なるものである、徳川時代に於て士農工商の區別ある如く筋肉労働者は社會の下層部が携り幾分輕侮され下位に置く傾向があり、それが明治から昭和にかけても其の關係が著しく支配階級と労働階級の對立化するに至つた、之が高じて都會と農村とが分離し知識階級、労働者、農民の對立するが如き社會問題となつた。

しかし斯る鬭争を如何にして解決するかといふことは都會と農村との親睦知識階級と筋肉労働者及農業労働者の圓満的接觸である。

かかる危機を救濟するに階級意識を清算し労働神聖を認識せしむることであり、筋肉労働の眞髓を體得し労働奉仕による筋肉労働を尊敬するやう教育して認識を高むべきであり、凡ゆる階級を網羅し生涯に一度は筋肉労働に從事せしめ其の尊さを體得すべきである。

世界の大勢は持たざる國と、持てる國との絶間なる爭闘

である、彼の伊太利のエチオピア征服、獨逸の墺太利合併及びソヴィエットが世界共産化の大陰謀を逞しうし、遂にスペインの内亂を惹起せしめ、更に戈を東亞に向け支那を煽動して極東の平和を攪亂し、機を見て亞細亞の霸權を掌握せんとするや、此の容共支那と、背後に蠢動するコミニテルンを敵とし皇軍一發主義の砲撃等は蓋し其の例證にして

之に伴ひ列國は競つて軍備擴張に専念するに至り、恰も歐洲大戰前を彷彿たらしむるものがある然るに最後の勝利は人口、資源、武器の充實にもあれど一致協同せる國民の精神と旺盛なる體力と云はねばならぬ、我が國の軍隊の大部 分が農村に於ける筋肉労働者であるが如き其の一例である。我が國が農業國より工業國に躍進しつゝある時、或は農村から都市へ人口が集中しつゝある時國民體力が低下しつゝあることは明である、學生時代に於ける教練武術のみを以て眞實の體力を養成することは困難である。

之は何といつても全國民が筋肉労働者と同じく困苦缺乏に耐へ得ると共に大衆を嚮導すべき崇高な精神を以てせば

世界各國に伍し優越なる地位を確保し得るのである。

我が國は上は萬世一系の皇室を戴き萬國に冠たる崇高不可侵の大和魂が漲ぎつてゐる。

従つてナチス、ムツソリニーの集團運動を模倣する必要もなく又勤労奉仕の精神と活動とは日支事變によつて始まつたのではない。勤労奉仕は我國古來の良風たる隣保扶助の精神に基き昔から諸種のものが行はれたものである。唯

地方的に行はれ原始的のものであり近代的組織もなければ統制もなかつた勤労奉仕の觀念と其の實踐とが強調される動機は經濟更生運動に具體化せられ更に日支事變の勃發により北南支の第一線に活躍しつゝある將兵が一身を賭して困苦缺乏に耐へつゝある時銃後の國民の任務として精神の緊張をなし勤労力行し聖戰の終局の目的を達成すべく或は國民體位の低下を憂へその向上を圖るため適度の勞働は健全なる身體を鍛成し各種の運動に劣らざることが認識せられるに至つた。

日支事變はソヴィエット、イギリス、フランスの軍需品其

他の支援により長期抵抗のため我國の凡ゆる方面に一層深刻化するを慮り一定の組織を與へることが必要となつた。

即ち事變により農山漁村に於ては人馬の應召徵發により労働者の減少に伴ひ生活の不安や農村漁業の經營に困難を生ずる憂へ生産力の減退を防止すると共に軍需品の供出に當り迅速に供給し遺憾ながらしむるため勤労奉仕運動が全國的に起つた。

此の運動は幸にして全國に風靡し農村から都會へ方向轉じ今や一般青年、官公吏、教員、學生其の他に流行するに至つた、中學生が道路を修繕したり、女學生が草を刈り公園や神社の掃除田植や其の他の援助をなし昨年の收穫時に農業勞働上何等の支障なく六千六百萬石の米の收穫を始め本年の農繁期に際しても勤労奉仕運動は徹底せられ特に應召者に對し、よく實行せられ其の涙ぐましい例が數多くある。

然るに全國的に益々奉仕的作業多々ありと雖も全國民の總意により奉仕せらるべき事業は何と云つても皇紀二千六

百年の國民的祝典事業である橿原神宮境域擴張工事であるといはねばならぬ。

其の特徴は神武天皇が近畿地方を征定せられ政治の中心として聖地畝傍山に皇居を御造營せられ、あの因縁深き土地に二千五百九十八年を経たる今日我々建國奉仕隊が神宮の擴張整備の事業に清らかな汗によつて奉仕し、近く來らんとする紀元二千六百年を迎へんとするのである。

### 三、建國奉仕隊本部規程

第一條 建國奉仕隊本部ハ橿原神宮境域及外苑並畝傍山東

北陵域擴張整備事業ニ奉仕スル建國奉仕隊ヲ統轄指導

訓練ヲ爲スモノトス

第二條 建國奉仕隊本部ハ奈良縣廳内ニ之ヲ置ク

第三條 建國奉仕隊本部ニ左ノ係ヲ置ク

總務掛

動員係

作業係

第四條 總務係ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

説苑

一、庶務、企畫及聯絡ニ關スル事項  
二、經理ニ關スル事項

三、他係ノ主管ニ屬セザル事項

四、動員係ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、建國奉仕隊ノ組織並指導訓練ニ關スル事項

二、建國奉仕隊奉仕ノ申込受理ニ關スル事項

三、宿泊ニ關スル事項

四、輸送ニ關スル事項

第六條 作業係ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、作業指導ニ關スル事項

二、作業用具ノ管理ニ關スル事項

三、作業上ノ設備ニ關スル事項

四、救護ニ關スル事項

第七條 建國奉仕隊本部ニ左ノ職員ヲ置ク

統監 一名

次長 四名

本部附 若干名

指導監 若干名

總務係長 一名

動員係長 一名

作業係長 一名

主任 若干名

係員 若干名

第八條 統監ハ奈良縣知事ヲ以テ之ニ充ツ、建國奉仕隊本部ヲ代表シ事務ヲ統裁ス

第九條 次長ハ縣廳内四部長ヲ以テ之ニ充ツ、統監ヲ補佐シ統監事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第十條 本部附及指導監以下ノ職員ハ統監之ヲ命ジ又ハ囑託ス

建國奉仕隊本部職員  
建國奉仕隊指導監

奈良縣公園課長 坂田 靜夫  
同 教育課長 河野 榮藏

同 土木課長 平野 重市

建國奉仕隊總務係長

指導監 坂田 靜夫

建國奉仕隊勤務係長

指導監 河野 榮藏

第十三條 係長ハ統監及次長（總務係ニ在リテハ總務部長監督ス

タル次長、動員係ニ在リテハ學務部長タル次長、作業係ニ在リテハ經濟部長タル次長）ノ命ヲ承ケ所管ノ事務ヲ掌理ス

第十四條 主任及係員ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス  
第十五條 建國奉仕隊本部ニ顧問及參與若干名ヲ置キ統監之ヲ命ジ又ハ委嘱ス  
顧問及參與ハ統監ノ諮問ニ應ジ重要事項ノ協議ニ參與スルモノトス

建國奉仕隊作業係長

都市計畫地方技師

藤田 宗光

貴族院議員  
江藤源九郎

山本 米三

建國奉仕隊本部附

紀元二千六百年祭  
良縣奉祝會理事

同

福井 茂三

高森榮喜三  
岩井 市松

同

森 榮藏

同 同 同

同

松尾 四郎

高森榮喜三  
岩井 市松

同

八木 遲郎

高森榮喜三  
岩井 市松

同

村山 長舉

高森榮喜三  
岩井 市松

同

原田 讓二

高森榮喜三  
岩井 市松

同

刀禰館正雄

高森榮喜三  
岩井 市松

同

種田 虎雄

高森榮喜三  
岩井 市松

同

三好 萬次

高森榮喜三  
岩井 市松

同

井内彥四郎

高森榮喜三  
岩井 市松

同

中山 正善

高森榮喜三  
岩井 市松

同

竹下 暉

高森榮喜三  
岩井 市松

同

高橋彥三郎

高森榮喜三  
岩井 市松

同

奈良縣土木技手

高森榮喜三  
岩井 市松

同

東口 光治

建國奉仕隊顧問

說

苑

奈良縣土木技手

一〇九